

2025年11月10日

第82回 青雲塾ご案内

<https://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

青雲塾担当 麻田伸司 (31期)

世界の難民等と彼らへの支援の現状・課題について

長期化しているロシア・ウクライナ紛争、中東問題など国外では依然戦争が行われており、その被害に苦しんでいる人々が増加しています。

今回の青雲塾ではこれまで20年以 NGO職員やJICA専門家そして現在は世界の医療団として難民等への支援に関わってこられた中嶋秀昭氏よりご講演をいただきます。

会員・準会員の皆さんのご参加をお待ちしています。

1. 日 時 2026年1月24日（土） 10：00～12：00

2. 場 所 大阪大学豊中キャンパス 法経講義棟2番講義室
<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

3. 参加費 無料

4. 講師プロフィール

中嶋 秀昭（なかじま ひであき）

特定非営利活動法人メドゥサン・デュ・モンド・ジャポン（世界の医療団）
海外事業プロジェクト・コーディネーター

大阪大学法学部卒

新制42期。黒澤満ゼミ（軍宿国際法）、坂元一哉ゼミ（国際関係論）。

新聞記者等を経て、NGO職員、JICA専門家として内戦下のネパール、スリランカ北部、インドネシア（アチェ）、リベリア、南スーダン、パキスタン等に駐在。主に（母子）保健関連の支援事業を監理。

2020年より世界の医療団にてロヒンギヤ難民・ホストコミュニティ住民支援等に従事。



5. 講師から

これまで 20 年以上、NGO 職員や JICA 専門家として主に保険分野でアジアアフリカの途上国や紛争後国への支援に従事しています。

現在は迫害により隣国ミャンマーからバングラデシュに逃れたロヒンギヤ難民と地元コミュニティ住民への支援に NGO で携わっています。

法学部に入ったのはより以前に遡るもの、特に英語と音楽が好きだった高校生の頃、“We Are The World” という楽曲に代表されるエチオピア飢餓救済キャンペーンが繰り広げられ、当地と日本の格差に衝撃を受け、国連で働きたいと思った事が理由です。

現在、世界中で故郷を追われた難民・避難民・庇護希望者などは日本の人口に匹敵する 12,320 万人で世界で 67 人に 1 人を数えます。これは過去最大の人数です。

しかし、米国を中心とした援助資金削減や排外主義の高まりにより、こうした人々の生存や保護はさらに厳しくなっています。現状と課題について、ロヒンギヤ難民（支援）に焦点を当ててお伝えします。

あまり「楽しめるテーマ」ではないかもしれません、どうぞよろしくお願ひします。

6. 申し込み

下記URLの申込フォームから、または青雲会事務局へお申込みください。

申込フォーム <https://ws.formzu.net/dist/S42085688/>

青雲会事務局連絡先

電話&FAX 06-6850-5198

Mail: ishibashi@seiunkai.net

または seiunkai5198@gmail.com

URLはこちら



☆ 今回の青雲塾は、青雲会 70 周年記念事業として設置した録画配信システムを利用して全国の会員・準会員の皆さんに受講いただけます。
お申込み時に参加形態をお知らせください。

—————▲————— (FAX 用) —————▲—————

青雲会事務局 行

第82回青雲塾 1月24日（土）への参加を申し込みます。

() 現地参加

() オンライン参加

ご芳名 _____ (期)

当日の連絡先電話番号 ()